

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正	誤																
<p>地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)</p>	<p>地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)</p>																
<p>整理番号 12-1</p> <p>期中の評価個表</p>	<p>整理番号 12-1</p> <p>期中の評価個表</p>																
<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>水源林造成事業</td> <td>事業計画期間</td> <td>S58～H101(最長90年間)</td> </tr> <tr> <td>事業実施地区名</td> <td>利根川広域流域 10～29年経過分</td> <td>事業実施主体</td> <td>独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター</td> </tr> </table>	事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S58～H101(最長90年間)	事業実施地区名	利根川広域流域 10～29年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター	<table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>水源林造成事業</td> <td>事業計画期間</td> <td>S58～H101(最長90年間)</td> </tr> <tr> <td>事業実施地区名</td> <td>利根川広域流域 10～29年経過分</td> <td>事業実施主体</td> <td>独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター</td> </tr> </table>	事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S58～H101(最長90年間)	事業実施地区名	利根川広域流域 10～29年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S58～H101(最長90年間)														
事業実施地区名	利根川広域流域 10～29年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター														
事業名	水源林造成事業	事業計画期間	S58～H101(最長90年間)														
事業実施地区名	利根川広域流域 10～29年経過分	事業実施主体	独立行政法人森林総合研究所 森林農地整備センター														
<p>事業の概要・目的</p> <p>当事業は、気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている利根川広域流域内の栃木県日光市外20市町村の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、新植・下刈・除伐・保育間伐など森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を行い、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：契約件数 192件、事業対象区域面積 2,300ha ・総事業費：7,378,808千円 	<p>事業の概要・目的</p> <p>当事業は、気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている利根川広域流域内の栃木県日光市外20市町村の民間による造林が困難な奥地水源地域において水源を涵養するため、独立行政法人森林総合研究所が分取造林契約の当事者となって、急速かつ計画的に森林の造成を行うことを目的としている。</p> <p>具体的には、水源涵養保安林及び同予定地のうち、無立木地、散生地、粗悪林相地等において、独立行政法人森林総合研究所が造林地所有者、造林者と分取造林契約を締結し、新植・下刈・除伐・保育間伐など森林整備のための費用負担及びシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導を行い、水源林を造成するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容：契約件数 192件、事業対象区域面積 2,300ha ・総事業費：7,378,808千円 																
<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化等</p> <p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、水源涵養便益であり、植栽や保育により森林を造成し、洪水防止、流域貯水、水質浄化に寄与する効果である。また、山地保全便益については、森林を造成し土砂流出や山腹崩壊等の防止に寄与する効果である。</p> <p>現時点における10年経過分の造林地の費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">総便益 (B) 872,978千円 総費用 (C) 399,873千円 分析結果 (B/C) 2.18</p>	<p>① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化等</p> <p>当事業の費用対効果分析における主な効果は、水源涵養便益であり、植栽や保育により森林を造成し、洪水防止、流域貯水、水質浄化に寄与する効果である。また、山地保全便益については、森林を造成し土砂流出や山腹崩壊等の防止に寄与する効果である。</p> <p>現時点における10年経過分の造林地の費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">総便益 (B) 871,415千円 総費用 (C) 399,873千円 分析結果 (B/C) 2.18</p>																
<p>② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化</p> <p>当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県及び東京都における私有林の未立木地面積は、昭和45年の19,254haから一貫して増加傾向にあり、平成19年には32,663haとなっており、引き続き森林造成が必要である。</p> <p>また、これらの都県における私有林の不在村者所有森林面積は、昭和45年の151,065haから平成17年の198,092haと増加傾向にあり、林業就業者は、昭和45年の12,051人から平成22年の4,645人と減少し、平成22年の65歳以上の割合は17%と高齢化も進行している。さらに、木材生産額は、昭和46年の12,460百万円から平成22年の2,200百万円と減少している。これらのことから、地域の森林の管理水準の低下が危惧される。</p> <p>こうした中、水源林造成事業については、水源涵養機能等の向上を図りながら、その実施を通じ、地域の雇用にも貢献できるよう事業地の着実な成林に向け取り組むこととしている。</p>	<p>② 森林・林業情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化</p> <p>当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県及び東京都における私有林の未立木地面積は、昭和45年の19,254haから一貫して増加傾向にあり、平成19年には32,663haとなっており、引き続き森林造成が必要である。</p> <p>また、これらの都県における私有林の不在村者所有森林面積は、昭和45年の151,065haから平成17年の198,092haと増加傾向にあり、林業就業者は、昭和45年の12,051人から平成22年の4,645人と減少し、平成22年の65歳以上の割合は17%と高齢化も進行している。さらに、木材生産額は、昭和46年の12,460百万円から平成22年の2,200百万円と減少している。これらのことから、地域の森林の管理水準の低下が危惧される。</p> <p>こうした中、水源林造成事業については、水源涵養機能等の向上を図りながら、その実施を通じ、地域の雇用にも貢献できるよう事業地の着実な成林に向け取り組むこととしている。</p>																
<p>③ 事業の進捗状況</p> <p>植栽木の大半が生存しており、順調な生育状況である。</p>	<p>③ 事業の進捗状況</p> <p>植栽木の大半が生存しており、順調な生育状況である。</p>																

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正	誤																												
<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">整理番号 12-2</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">④ 関連事業の整備状況</td> <td>当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向</td> <td>植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑥ 事業コスト削減等の可能性</td> <td>費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑦ 代替案の実現可能性</td> <td>該当なし。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">第三者委員会の意見</td> <td>費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">評価結果及び事業の実施方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p> </td> </tr> </table>	整理番号 12-2		④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。	⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。	⑥ 事業コスト削減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。	⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。	第三者委員会の意見	費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。	評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p>	<p style="text-align: center;">地区別評価結果</p> <p>1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: right;">整理番号 12-2</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">④ 関連事業の整備状況</td> <td>当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向</td> <td>植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑥ 事業コスト削減等の可能性</td> <td>費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">⑦ 代替案の実現可能性</td> <td>該当なし。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">第三者委員会の意見</td> <td>費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;">評価結果及び事業の実施方針</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p> </td> </tr> </table>	整理番号 12-2		④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。	⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。	⑥ 事業コスト削減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。	⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。	第三者委員会の意見	費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。	評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p>
整理番号 12-2																													
④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。																												
⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。																												
⑥ 事業コスト削減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。																												
⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。																												
第三者委員会の意見	費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。																												
評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p>																												
整理番号 12-2																													
④ 関連事業の整備状況	当該流域が属する茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県及び東京都では、以下のとおり森林整備を進めることとしている。 【茨城県：茨城県森林・林業振興計画2011～2015(平成23年4月)】 「施業の適切な選択による効率的で多様な森林整備・森林管理」「林内路網の整備と長期育成循環施業等の普及」 【栃木県：とちぎ森林・林業・木材産業未来ビジョン2011(平成23年3月)】 「集約化森林施業の普及・定着」、「広葉樹林化・針広混交林化などの促進」 【群馬県：群馬県森林・林業基本計画(平成23年11月)】 「持続可能な森林の整備」、「公益的機能を高度に発揮する森林づくり」 【埼玉県：埼玉農林業・農山村振興ビジョン(平成23年3月)】 「多様な機能を発揮させる森林の整備」、「造林及び保育の推進」 【千葉県：千葉県農林水産部門別計画(森林・林業振興計画)(平成23年3月)】 「計画的かつ効率的な森林整備の推進」、「間伐の推進」 【東京都：森づくり推進プラン(平成21年3月)】 「公益的機能を重視する森林へ誘導」、「森林整備の効率化に不可欠な基盤整備」 こうした中で水源林造成事業地では、首都圏の水源林としての機能を高度に発揮すべく多様な森林整備を通じ、流域内のダム水源や簡易水道水源などとしての水源涵養機能等の発揮に一定の役割を果たしている。																												
⑤ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向	植栽地は順調に成林しており、所在市町村及び契約相手方(造林地所有者、造林者)は水源涵養等の機能発揮への期待が大きく、引き続き適期の保育作業の実施を要望している。																												
⑥ 事業コスト削減等の可能性	費用対効果分析の結果から効率性は確保されているが、さらに、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとする。																												
⑦ 代替案の実現可能性	該当なし。																												
第三者委員会の意見	費用対効果分析結果、森林・林業情勢、植栽木等の生育状況、事業コスト削減の取組等、事業の公益性を総合的に検討した結果、水源林としての機能を十分発揮していることから、事業を継続することが適当と考える。																												
評価結果及び事業の実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性：気候が温暖で、下流に人口の集中した都市が形成されている本流域の奥地条件不利地域等においてシカによる食害対策など事業実行に関する技術指導など必要な取り組みが計画的に行われてきており、水源林造成事業による事業の必要性が認められる。 ・効率性：これまでの事業地同様効率的な事業実施に努めていくこととなっている他、今後の除伐の実施に当たっては、適期に実施することや植栽木の成長に支障のない広葉樹等は保残するなど、針広混交林等の造成を目指すことによりコスト削減に努めることとしており、事業の効率性が認められる。 ・有効性：シカによる食害対策や針広混交林化等必要な取り組みを行いつつ、植栽地は順調な生育を示しており、水源涵養などの水土保全機能を着実に発揮していることから、事業の有効性が認められる。 <p>事業の実施方針： 継続が妥当</p>																												

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正		誤						
地区別評価結果		地区別評価結果						
1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)		1 独立行政法人事業 水源林造成事業 (12)利根川流域10～29年経過分(評価書)						
様式1 便益集計表 (森林整備事業) 事業名：水源林造成事業 施行箇所：利根川広域流域 10年経過契約地 (単位：千円)		様式1 便益集計表 (森林整備事業) 事業名：水源林造成事業 施行箇所：利根川広域流域 10年経過契約地 (単位：千円)						
大区分	中区分	評価額	備考	大区分	中区分	評価額	備考	
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	234,770		水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	234,770		
	流域貯水便益	73,102			流域貯水便益	流域貯水便益	73,102	
	水質浄化便益	174,968				水質浄化便益	173,427	
山地保全便益	土砂流出防止便益	301,964		山地保全便益	土砂流出防止便益	301,964		
	土砂崩壊防止便益	13,866			土砂崩壊防止便益	13,866		
環境保全便益	炭素固定便益	66,344		環境保全便益	炭素固定便益	66,344		
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	7,964		木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	7,942		
総便益 (B)		872,978		総便益 (B)		871,415		
総費用 (C)		399,873	千円	総費用 (C)		399,873	千円	
費用便益比	$B \div C = \frac{872,978}{399,873} = 2.18$			費用便益比	$B \div C = \frac{871,415}{399,873} = 2.18$			

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益
水質浄化便益
事業効果区域

174,968

$$B = \sum_{t=1}^{T-1} \frac{t}{T \times (1+i)^t} + \sum_{t=T}^Y \frac{1}{(1+i)^t} \times \frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy} \times (D2-D1) \times A \times P \times u \times 10$$

u = $\frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy}$

Qx: 全貯留量のうち生活用水使用相当量 155.00 億

Qy: 全貯留量-Qx 1,707.30 億

A: 事業対象区域面積 (ha) 102.99 ~ 102.99

P: 年間平均降雨量 (mm/年) 1,565
出典: 気象統計情報(気象庁)

T: 事業実施後、貯留率が安定するのに必要な年数 15

D1: 事業実施前の貯留率 0.51
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

D2: 事業実施後、1年経過後の貯留率 0.56
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

Ux: 単位当たりの上水道給水原価 (円/m³) 176.35
出典: 「日本の水資源」

Uy: 単位当たりの雨水浄化費 (円/m³) 68.60
出典: 「地球環境・人間生活にかかる農業及び森林の多面的な機能に関する調査研究報告書」(三菱総合研究所H13.11「雨水利用ハンドブック」)

u: 単位当たりの水質浄化費 (Ux と Uy を用いて Qx と Qy で比例配分して算出) 77.57

Y: 評価期間 80

10: 単位合わせのための調整値

年度	社会的割引率	事業対象区域面積	効果額	現在価値化
2001	1.5395			
2002	1.4802	102.99	6.87	417
2003	1.4233	102.99	13.73	833
2004	1.3688	102.99	20.60	1,250
2005	1.3159	102.99	27.46	1,652
2006	1.2653	102.99	34.33	2,065
2007	1.2167	102.99	41.20	2,500
2008	1.1699	102.99	48.06	2,916
2009	1.1249	102.99	54.93	3,333
2010	1.0818	102.99	61.79	3,760
2011	1.0400	102.99	68.66	4,166
2012	1.0000	102.99	75.53	4,583
2013	0.9615	102.99	82.39	4,999
2014	0.9246	102.99	89.26	5,416
2015	0.8890	102.99	96.12	5,833
2016	0.8548	102.99	102.99	6,249
2017	0.8219	102.99	102.99	6,249
2018	0.7903	102.99	102.99	6,249
2019	0.7599	102.99	102.99	6,249
2020	0.7307	102.99	102.99	6,249
2021	0.7026	102.99	102.99	6,249
2022	0.6756	102.99	102.99	6,249
2023	0.6496	102.99	102.99	6,249
2024	0.6246	102.99	102.99	6,249
2025	0.6006	102.99	102.99	6,249
2026	0.5775	102.99	102.99	6,249
2027	0.5553	102.99	102.99	6,249
2028	0.5339	102.99	102.99	6,249
2029	0.5134	102.99	102.99	6,249
2030	0.4936	102.99	102.99	6,249
2031	0.4746	102.99	102.99	6,249
2032	0.4564	102.99	102.99	6,249
2033	0.4388	102.99	102.99	6,249
2034	0.4220	102.99	102.99	6,249
2035	0.4057	102.99	102.99	6,249

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)
水源涵養便益 水質浄化便益

水源涵養便益
水質浄化便益
事業効果区域

173,427

$$B = \sum_{t=1}^{T-1} \frac{t}{T \times (1+i)^t} + \sum_{t=T}^Y \frac{1}{(1+i)^t} \times \frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy} \times (D2-D1) \times A \times P \times u \times 10$$

u = $\frac{Ux \times Qx + Uy \times Qy}{Qx + Qy}$

Qx: 全貯留量のうち生活用水使用相当量 155.00 億

Qy: 全貯留量-Qx 1,862.30 億

A: 事業対象区域面積 (ha) 102.99 ~ 102.99

P: 年間平均降雨量 (mm/年) 1,565
出典: 気象統計情報(気象庁)

T: 事業実施後、貯留率が安定するのに必要な年数 15

D1: 事業実施前の貯留率 0.51
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

D2: 事業実施後、1年経過後の貯留率 0.56
出典: 「森林の間伐と水収支」(近藤ら、1987)

Ux: 単位当たりの上水道給水原価 (円/m³) 176.35
出典: 「日本の水資源」

Uy: 単位当たりの雨水浄化費 (円/m³) 68.60
出典: 「地球環境・人間生活にかかる農業及び森林の多面的な機能に関する調査研究報告書」(三菱総合研究所H13.11「雨水利用ハンドブック」)

u: 単位当たりの水質浄化費 (Ux と Uy を用いて Qx と Qy で比例配分して算出) 76.88

Y: 評価期間 80

10: 単位合わせのための調整値

年度	社会的割引率	事業対象区域面積	効果額	現在価値化
2001	1.5395			
2002	1.4802	102.99	6.87	413
2003	1.4233	102.99	13.73	826
2004	1.3688	102.99	20.60	1,235
2005	1.3159	102.99	27.46	1,652
2006	1.2653	102.99	34.33	2,065
2007	1.2167	102.99	41.20	2,477
2008	1.1699	102.99	48.06	2,890
2009	1.1249	102.99	54.93	3,303
2010	1.0818	102.99	61.79	3,716
2011	1.0400	102.99	68.66	4,129
2012	1.0000	102.99	75.53	4,542
2013	0.9615	102.99	82.39	4,955
2014	0.9246	102.99	89.26	5,368
2015	0.8890	102.99	96.12	5,781
2016	0.8548	102.99	102.99	6,194
2017	0.8219	102.99	102.99	6,194
2018	0.7903	102.99	102.99	6,194
2019	0.7599	102.99	102.99	6,194
2020	0.7307	102.99	102.99	6,194
2021	0.7026	102.99	102.99	6,194
2022	0.6756	102.99	102.99	6,194
2023	0.6496	102.99	102.99	6,194
2024	0.6246	102.99	102.99	6,194
2025	0.6006	102.99	102.99	6,194
2026	0.5775	102.99	102.99	6,194
2027	0.5553	102.99	102.99	6,194
2028	0.5339	102.99	102.99	6,194
2029	0.5134	102.99	102.99	6,194
2030	0.4936	102.99	102.99	6,194
2031	0.4746	102.99	102.99	6,194
2032	0.4564	102.99	102.99	6,194
2033	0.4388	102.99	102.99	6,194
2034	0.4220	102.99	102.99	6,194
2035	0.4057	102.99	102.99	6,194

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業

水源林造成事業

(12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

2036	0.3901	102.99	102.99	6,249	2,438
2037	0.3751	102.99	102.99	6,249	2,344
2038	0.3607	102.99	102.99	6,249	2,254
2039	0.3468	102.99	102.99	6,249	2,167
2040	0.3335	102.99	102.99	6,249	2,084
2041	0.3207	102.99	102.99	6,249	2,004
2042	0.3083	102.99	102.99	6,249	1,927
2043	0.2965	102.99	102.99	6,249	1,853
2044	0.2851	102.99	102.99	6,249	1,780
2045	0.2741	102.99	102.99	6,249	1,713
2046	0.2636	102.99	102.99	6,249	1,647
2047	0.2534	102.99	102.99	6,249	1,583
2048	0.2437	102.99	102.99	6,249	1,523
2049	0.2343	102.99	102.99	6,249	1,464
2050	0.2253	102.99	102.99	6,249	1,408
2051	0.2166	102.99	102.99	6,249	1,354
2052	0.2083	102.99	102.99	6,249	1,302
2053	0.2003	102.99	102.99	6,249	1,252
2054	0.1926	102.99	102.99	6,249	1,204
2055	0.1852	102.99	102.99	6,249	1,157
2056	0.1780	102.99	102.99	6,249	1,112
2057	0.1712	102.99	102.99	6,249	1,070
2058	0.1646	102.99	102.99	6,249	1,029
2059	0.1583	102.99	102.99	6,249	989
2060	0.1522	102.99	102.99	6,249	951
2061	0.1463	102.99	102.99	6,249	914
2062	0.1407	102.99	102.99	6,249	879
2063	0.1353	102.99	102.99	6,249	845
2064	0.1301	102.99	102.99	6,249	813
2065	0.1251	102.99	102.99	6,249	782
2066	0.1203	102.99	102.99	6,249	752
2067	0.1157	102.99	102.99	6,249	723
2068	0.1112	102.99	102.99	6,249	695
2069	0.1069	102.99	102.99	6,249	668
2070	0.1028	102.99	102.99	6,249	642
2071	0.0989	102.99	102.99	6,249	618
2072	0.0951	102.99	102.99	6,249	594
2073	0.0914	102.99	102.99	6,249	571
2074	0.0879	102.99	102.99	6,249	548
2075	0.0845	102.99	102.99	6,249	524
2076	0.0813	102.99	102.99	6,249	503
2077	0.0781	102.99	102.99	6,249	483
2078	0.0751	102.99	102.99	6,249	463
2079	0.0722	102.99	102.99	6,249	441
2080	0.0695	102.99	102.99	6,249	424
2081	0.0668	102.99	102.99	6,249	411
合計					174,968

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業

水源林造成事業

(12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)

水源涵養便益 水質浄化便益

2036	0.3901	102.99	102.99	6,194	2,416
2037	0.3751	102.99	102.99	6,194	2,323
2038	0.3607	102.99	102.99	6,194	2,234
2039	0.3468	102.99	102.99	6,194	2,148
2040	0.3335	102.99	102.99	6,194	2,066
2041	0.3207	102.99	102.99	6,194	1,986
2042	0.3083	102.99	102.99	6,194	1,910
2043	0.2965	102.99	102.99	6,194	1,837
2044	0.2851	102.99	102.99	6,194	1,766
2045	0.2741	102.99	102.99	6,194	1,698
2046	0.2636	102.99	102.99	6,194	1,633
2047	0.2534	102.99	102.99	6,194	1,570
2048	0.2437	102.99	102.99	6,194	1,509
2049	0.2343	102.99	102.99	6,194	1,451
2050	0.2253	102.99	102.99	6,194	1,396
2051	0.2166	102.99	102.99	6,194	1,342
2052	0.2083	102.99	102.99	6,194	1,290
2053	0.2003	102.99	102.99	6,194	1,241
2054	0.1926	102.99	102.99	6,194	1,193
2055	0.1852	102.99	102.99	6,194	1,147
2056	0.1780	102.99	102.99	6,194	1,103
2057	0.1712	102.99	102.99	6,194	1,060
2058	0.1646	102.99	102.99	6,194	1,020
2059	0.1583	102.99	102.99	6,194	981
2060	0.1522	102.99	102.99	6,194	943
2061	0.1463	102.99	102.99	6,194	906
2062	0.1407	102.99	102.99	6,194	871
2063	0.1353	102.99	102.99	6,194	838
2064	0.1301	102.99	102.99	6,194	806
2065	0.1251	102.99	102.99	6,194	775
2066	0.1203	102.99	102.99	6,194	745
2067	0.1157	102.99	102.99	6,194	717
2068	0.1112	102.99	102.99	6,194	689
2069	0.1069	102.99	102.99	6,194	662
2070	0.1028	102.99	102.99	6,194	637
2071	0.0989	102.99	102.99	6,194	613
2072	0.0951	102.99	102.99	6,194	589
2073	0.0914	102.99	102.99	6,194	566
2074	0.0879	102.99	102.99	6,194	544
2075	0.0845	102.99	102.99	6,194	523
2076	0.0813	102.99	102.99	6,194	504
2077	0.0781	102.99	102.99	6,194	484
2078	0.0751	102.99	102.99	6,194	465
2079	0.0722	102.99	102.99	6,194	447
2080	0.0695	102.99	102.99	6,194	430
2081	0.0668	102.99	102.99	6,194	414
合計					173,427

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分		56,182									
$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+I)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$											
U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO2-ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術研究開発成果報告書(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月)		6,046								
V1:	事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	5,172 2,718 717 3,407 0								
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) 出典:人工林分密度管理図(一社)日本森林技術協会、 森林農地整備センター収穫予測表(独)森林総合研究所等	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	10,343 15,435 1,434 6,815 0								
Y:	評価期間		80								
D:	容積密度(t/m3) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	0.314 0.407 0.404 0.572 0								
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 スギ 樹齢20年経 ヒノキ 樹齢20年経 カラマツ 樹齢20年経 前生広葉樹等 樹齢20年経 0 樹齢20年経 0	1.23 1.24 1.15 1.30 0 0								
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	0.25 0.26 0.29 0.26 0								
0.5:	植物中の炭素含有率										
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数										
年度	社会的割引率	スギ	ヒノキ	カラマツ	前生広葉樹等	効果額	効果額	効果額	効果額	効果額	効果額
2001	1.5395	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2002	1.4902	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2003	1.4233	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2004	1.3686	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2005	1.3159	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2006	1.2653	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2007	1.2167	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2008	1.1699	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2009	1.1249	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2010	1.0816	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2011	1.0400	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2012	1.0000	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2013	0.9615	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2014	0.9246	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2015	0.8890	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2016	0.8548	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2017	0.8219	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2018	0.7903	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2019	0.7599	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2020	0.7307	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分		56,182									
$B = \sum_{t=1}^Y \frac{V2-V1}{Y \times (1+I)^t} \times D \times BEF \times (1+R) \times 0.5 \times \frac{44}{12} \times U$											
U:	二酸化炭素に関する原単位(円/CO2-ton) 出典:「二酸化炭素地中貯留技術研究開発成果報告書(財)地球環境産業技術研究機構(平成18年3月)		6,046								
V1:	事業を実施しない場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) (事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量の1/2を想定)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	242 158 108 131 0								
V2:	事業を実施する場合の評価最終年の当該森林の見込蓄積量(m3) 出典:人工林分密度管理図(一社)日本森林技術協会、 森林農地整備センター収穫予測表(独)森林総合研究所等	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	484 315 217 262 0								
Y:	評価期間		80								
D:	容積密度(t/m3) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	0.314 0.407 0.404 0.572 0								
BEF:	バイオマス拡大係数(地上部バイオマス量/幹バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	樹齢20年経 スギ 樹齢20年経 ヒノキ 樹齢20年経 カラマツ 樹齢20年経 前生広葉樹等 樹齢20年経 0 樹齢20年経 0	1.23 1.24 1.15 1.30 0 0								
R:	地上部に対する地下部の比率(地下部バイオマス量/地上部バイオマス量) 出典:「日本国温室効果ガスインベントリ報告書(2011年4月)(国立環境研究所温室効果ガスインベントリオフィス編)	スギ ヒノキ カラマツ 前生広葉樹等 0	0.25 0.26 0.29 0.26 0								
0.5:	植物中の炭素含有率										
44/12:	炭素から二酸化炭素への換算係数										
年度	社会的割引率	スギ	ヒノキ	カラマツ	前生広葉樹等	効果額	効果額	効果額	効果額	効果額	効果額
2001	1.5395	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2002	1.4902	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2003	1.4233	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2004	1.3686	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2005	1.3159	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2006	1.2653	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2007	1.2167	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2008	1.1699	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2009	1.1249	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2010	1.0816	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2011	1.0400	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2012	1.0000	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2013	0.9615	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2014	0.9246	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2015	0.8890	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2016	0.8548	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2017	0.8219	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2018	0.7903	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2019	0.7599	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		
2020	0.7307	64.64	346	96.47	680	8.96	59	42.59	441		

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

- 1 独立行政法人事業
- 水源林造成事業
- (12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)
- 環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

2011	1.0400	1.526	1.587
2012	1.0000	1.526	1.526
2013	0.9815	1.526	1.487
2014	0.9246	1.526	1.411
2015	0.8890	1.526	1.357
2016	0.8548	1.526	1.304
2017	0.8219	1.526	1.254
2018	0.7903	1.526	1.206
2019	0.7598	1.526	1.160
2020	0.7307	1.526	1.115
2021	0.7026	1.526	1.072
2022	0.6756	1.526	1.031
2023	0.6498	1.526	991
2024	0.6246	1.526	953
2025	0.6006	1.526	917
2026	0.5775	1.526	881
2027	0.5553	1.526	847
2028	0.5339	1.526	815
2029	0.5134	1.526	783
2030	0.4936	1.526	753
2031	0.4746	1.526	724
2032	0.4564	1.526	696
2033	0.4388	1.526	670
2034	0.4220	1.526	644
2035	0.4057	1.526	619
2036	0.3901	1.526	595
2037	0.3751	1.526	572
2038	0.3607	1.526	550
2039	0.3468	1.526	529
2040	0.3335	1.526	509
2041	0.3207	1.526	489
2042	0.3083	1.526	470
2043	0.2965	1.526	452
2044	0.2851	1.526	435
2045	0.2741	1.526	418
2046	0.2636	1.526	402
2047	0.2534	1.526	387
2048	0.2437	1.526	372
2049	0.2343	1.526	358
2050	0.2253	1.526	344
2051	0.2166	1.526	331
2052	0.2083	1.526	318
2053	0.2003	1.526	306
2054	0.1926	1.526	294
2055	0.1852	1.526	283
2056	0.1780	1.526	272
2057	0.1712	1.526	261
2058	0.1646	1.526	251
2059	0.1583	1.526	242
2060	0.1522	1.526	232
2061	0.1463	1.526	223
2062	0.1407	1.526	215
2063	0.1353	1.526	206
2064	0.1301	1.526	199
2065	0.1251	1.526	191
2066	0.1203	1.526	184
2067	0.1157	1.526	177
2068	0.1112	1.526	170
2069	0.1069	1.526	163
2070	0.1028	1.526	157
2071	0.0989	1.526	151
2072	0.0951	1.526	145
2073	0.0914	1.526	139
2074	0.0879	1.526	134
2075	0.0845	1.526	129
2076	0.0813	1.526	124
2077	0.0781	1.526	119
2078	0.0751	1.526	115
2079	0.0722	1.526	110
2080	0.0695	1.526	106
2081	0.0668	1.526	102
合計			56,182

誤

地区別評価結果

- 1 独立行政法人事業
- 水源林造成事業
- (12)利根川流域10～29年経過分(参考資料)
- 環境保全便益 炭素固定便益 樹木固定分

2011	1.0400	1.526	1.587
2012	1.0000	1.526	1.526
2013	0.9815	1.526	1.487
2014	0.9246	1.526	1.411
2015	0.8890	1.526	1.357
2016	0.8548	1.526	1.304
2017	0.8219	1.526	1.254
2018	0.7903	1.526	1.206
2019	0.7598	1.526	1.160
2020	0.7307	1.526	1.115
2021	0.7026	1.526	1.072
2022	0.6756	1.526	1.031
2023	0.6498	1.526	991
2024	0.6246	1.526	953
2025	0.6006	1.526	917
2026	0.5775	1.526	881
2027	0.5553	1.526	847
2028	0.5339	1.526	815
2029	0.5134	1.526	783
2030	0.4936	1.526	753
2031	0.4746	1.526	724
2032	0.4564	1.526	696
2033	0.4388	1.526	670
2034	0.4220	1.526	644
2035	0.4057	1.526	619
2036	0.3901	1.526	595
2037	0.3751	1.526	572
2038	0.3607	1.526	550
2039	0.3468	1.526	529
2040	0.3335	1.526	509
2041	0.3207	1.526	489
2042	0.3083	1.526	470
2043	0.2965	1.526	452
2044	0.2851	1.526	435
2045	0.2741	1.526	418
2046	0.2636	1.526	402
2047	0.2534	1.526	387
2048	0.2437	1.526	372
2049	0.2343	1.526	358
2050	0.2253	1.526	344
2051	0.2166	1.526	331
2052	0.2083	1.526	318
2053	0.2003	1.526	306
2054	0.1926	1.526	294
2055	0.1852	1.526	283
2056	0.1780	1.526	272
2057	0.1712	1.526	261
2058	0.1646	1.526	251
2059	0.1583	1.526	242
2060	0.1522	1.526	232
2061	0.1463	1.526	223
2062	0.1407	1.526	215
2063	0.1353	1.526	206
2064	0.1301	1.526	199
2065	0.1251	1.526	191
2066	0.1203	1.526	184
2067	0.1157	1.526	177
2068	0.1112	1.526	170
2069	0.1069	1.526	163
2070	0.1028	1.526	157
2071	0.0989	1.526	151
2072	0.0951	1.526	145
2073	0.0914	1.526	139
2074	0.0879	1.526	134
2075	0.0845	1.526	129
2076	0.0813	1.526	124
2077	0.0781	1.526	119
2078	0.0751	1.526	115
2079	0.0722	1.526	110
2080	0.0695	1.526	106
2081	0.0668	1.526	102
合計			56,182

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

本材生産等便益
生産確保・増進便益
森林整備による増進分
B = Y / sum_{t=1}^n (1+i)^t
Y: 評価期間 80
Vt主: 人工林 主伐量 t年後における伐採材積(m3)
スギ 0.00 ~ 8,274.46
ヒノキ 0.00 ~ 11,576.25
カラマツ 0.00 ~ 1,075.78
前生広葉樹等 0.00 ~ 6,814.62
@: 人工林 主伐材 木材市場価格(円/m3)
スギ 2,924
ヒノキ 7,676
カラマツ 3,578
前生広葉樹等 0

Table with columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額. Rows from 2001 to 2045.

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

本材生産等便益
生産確保・増進便益
森林整備による増進分
B = Y / sum_{t=1}^n (1+i)^t
Y: 評価期間 80
Vt主: 人工林 主伐量 t年後における伐採材積(m3)
スギ 0.00 ~ 8,274.46
ヒノキ 0.00 ~ 11,576.25
カラマツ 0.00 ~ 1,075.78
前生広葉樹等 0.00 ~ 6,814.62
@: 人工林 主伐材 木材市場価格(円/m3)
スギ 2,951
ヒノキ 7,829
カラマツ 3,578
前生広葉樹等 0

Table with columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額, 事業効果材積, 効果額. Rows from 2001 to 2045.

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

Table with 10 columns and 48 rows of numerical data for the 'Correct' column.

Summary table with 5 columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果材料, 効果額, 効果額 現在価値化. Rows from 2001 to 2035.

誤

地区別評価結果

1 独立行政法人事業
水源林造成事業
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)
木材生産等便益 生産確保・増進便益

Table with 10 columns and 48 rows of numerical data for the 'Error' column, including red highlights for 2081 and 合計.

Summary table with 5 columns: 年度, 社会的割引率, 事業効果材料, 効果額, 効果額 現在価値化. Rows from 2001 to 2035, including red highlights for 2081 and 合計.

(別添)

公共事業の事業評価書(林野公共事業の期中の評価)(平成25年5月15日公表)の一部修正 正誤表

正					誤						
地区別評価結果					地区別評価結果						
1 独立行政法人事業					1 独立行政法人事業						
水源林造成事業					水源林造成事業						
(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)					(12)利根川流域10~29年経過分(参考資料)						
木材生産等便益 生産確保・増進便益					木材生産等便益 生産確保・増進便益						
2036	0.3901			0	0	2036	0.3901			0	0
2037	0.3751			0	0	2037	0.3751			0	0
2038	0.3607			0	0	2038	0.3607			0	0
2039	0.3468			0	0	2039	0.3468			0	0
2040	0.3335			0	0	2040	0.3335			0	0
2041	0.3207			0	0	2041	0.3207			0	0
2042	0.3083			0	0	2042	0.3083			0	0
2043	0.2965			0	0	2043	0.2965			0	0
2044	0.2851			0	0	2044	0.2851			0	0
2045	0.2741			0	0	2045	0.2741			0	0
2046	0.2636			0	0	2046	0.2636			0	0
2047	0.2534			0	0	2047	0.2534			0	0
2048	0.2437			0	0	2048	0.2437			0	0
2049	0.2343			0	0	2049	0.2343			0	0
2050	0.2253			0	0	2050	0.2253			0	0
2051	0.2166			0	0	2051	0.2166			0	0
2052	0.2083			0	0	2052	0.2083			0	0
2053	0.2003			0	0	2053	0.2003			0	0
2054	0.1926			0	0	2054	0.1926			0	0
2055	0.1852			0	0	2055	0.1852			0	0
2056	0.1780			0	0	2056	0.1780			0	0
2057	0.1712			0	0	2057	0.1712			0	0
2058	0.1646			0	0	2058	0.1646			0	0
2059	0.1583			0	0	2059	0.1583			0	0
2060	0.1522			0	0	2060	0.1522			0	0
2061	0.1463			0	0	2061	0.1463			0	0
2062	0.1407			0	0	2062	0.1407			0	0
2063	0.1353			0	0	2063	0.1353			0	0
2064	0.1301			0	0	2064	0.1301			0	0
2065	0.1251			0	0	2065	0.1251			0	0
2066	0.1203			0	0	2066	0.1203			0	0
2067	0.1157			0	0	2067	0.1157			0	0
2068	0.1112			0	0	2068	0.1112			0	0
2069	0.1069			0	0	2069	0.1069			0	0
2070	0.1028			0	0	2070	0.1028			0	0
2071	0.0989			0	0	2071	0.0989			0	0
2072	0.0951			0	0	2072	0.0951			0	0
2073	0.0914			0	0	2073	0.0914			0	0
2074	0.0879			0	0	2074	0.0879			0	0
2075	0.0845			0	0	2075	0.0845			0	0
2076	0.0813			0	0	2076	0.0813			0	0
2077	0.0781			0	0	2077	0.0781			0	0
2078	0.0751			0	0	2078	0.0751			0	0
2079	0.0722			0	0	2079	0.0722			0	0
2080	0.0695			0	0	2080	0.0695			0	0
2081	0.0668			112.213	7.954	2081	0.0668			118.897	7.942
合計					7.954	合計					7.942